



議会だより



傍聴者多数
期待され開会(十二月定例会)

質問に立つ藤崎議員

十二月定例会

議員研修報告

議会議員先進地県外視察研修(北海道栗山町・伊達市・千歳市)・・・2P

吾川郡町村議会議長会主催議員研修(基本条例から考える)・・・3P

一般質問(将来の仁淀川町の構想ほか)・・・4P

中学生コラム

“池川中・仁淀中3年の想い” 4P・10P・12P・15P

コラム “長者だんだんの里”(キャンドルナイト)・・・7P

高吾北広域町村事務組合報告(第4回定例会)・・・9P

町長行政報告(巨大地震への対応・防災訓練ほか)・・・14P

教育長行政報告(池川・仁淀中学校合同チーム好成績)・・・15P

議案の審議結果 ・・・16P

質疑のあった議案(12月定例会)・・・17P

議長一口メモ! ・・・19P

議会議員先進地県外視察研修報告

平成28年10月4日(火)～6日(木)

〃町民の求める議会力向上のために〃

議員 竹 本 文 直

1. 研修参加者

議長 西森 常晴
 議員 若藤 敏久
 議員 竹本 文直
 議員 藤村良太郎
 議員 岡田 良成
 議員 藤崎 源彦
 企画課長 古味 実
 池川地域振興課長 古味 仁志
 総務課課長補佐 大原 正人
 事務局長 西森 建藏
 事務局書記 山諸 彩

2. 研修目的と内容

★北海道夕張郡栗山町議会（人口1万2千373人・議員定数13人）

☆目的 議会基本条例制定に向けた先進地研修
 ☆内容 栗山町議会基本条例制定までの経緯と制定後の議会活動について
 ①議会基本条例制定に至る背景・目的
 ②制定にあたり工夫・苦勞した点、問題など

③制定後の議会活動について

平成12年4月1日に地方分権一括法が施行され、地方議会の役割が広範囲にわたり、責任が極めて重くなってきた。

しかし、本町議会は旧態依然とした中で運営がされ、広範囲にわたる住民の声を十分に町政に反映できていない。

そこで現状を踏まえ、議会運営委員会の鳥取県日南町・大山町の研修に続き、議会基本条例を全国の市町村に先駆けて制定した、北海道栗山町の取り組みを学び、今後の本町議会運営に資するため研修を行った。



熱心に議論する参加議員

☆栗山町議会基本条例の特徴

- 町民や団体との意見交換のための議会主催による一般会議を設置
- 請願・陳情を町民からの政策提案として位置付け
- すべての議案に対する議員の態度(賛否)を公表
- 年1回の議会報告会の義務付け
- 議員の質問に対する町執行部の反問権の付与
- 政策形成過程に関する資料の提出努力義務
- 議員相互間の自由討議を推進

□政務活動費に関する透明性の確保

□議員の政治倫理を明記、別途議会議員政治倫理条例の制定

□町民から議会運営に関し提言を聴取する議会モニター制度の導入

□政策作りの助言を受ける議会サポーター制度の導入

□正副議長志願者の所信表明の導入

栗山町では、平成14年6月議会からインターネットによる議会ライブ中継を導入。平成17年3月から議会報告会を実施、議会改革を進める中で基本条例を制定している。

基本条例の根幹ともいえる、議会報告会は条例制定前から実施しており、議会報告会を継続するために条例として明記、議員が数班に分かれ、各地域に出向いて報告会を開催している。

本町でも、新庁舎完成時にはインターネットによる議会ライブ中継を導入することはすでに決定済みである。

議会基本条例を制定

し、町民と議会の関係、町執行部と議会の関係を明確にし、地域の中に入り、町民の声を積極的に聞き、執行部提案内容が、町民が求めるものかを審査することを明確にすることは大変重要なことである。

今後は仁淀川町発展に資する基本条例制定に向けてより一層、各議員が研さんを重ねる必要がある。



伊達市研修会

★北海道伊達市（人口約3万5千人・議員定数18人）

☆目的・内容

伊達市の移住・定住策の取り組みについて

①移住・定住策の取り組みに至る背景・経緯・目的

②移住・定住策を進めるにあたり工夫・苦勞した点、問題など

伊達市は仙台藩一門の巨理藩主・伊達邦茂とそ

の家臣によって開かれた町で、北海道の湘南と呼ばれ北海道では比較的温暖かい街と紹介されている。

移住促進に力を入れているが、移住者に対する直接的な支援はせず、すべての住民が「安心・安全に暮らせるまちづくり」を目指し、特に障害者に対する支援体制は特筆するものがある。また、移住相談窓口を充実。移住体験（お試し暮らし）を通じて多くの移住者を受け入れている。

シニア向け「安心ハウ

ス」は民間資金で住宅（マンション）を建設、建物の整備、管理条件などの認定基準を市で定め、その基準を満たす民間住宅を「伊達版安心住宅」2棟計65戸を認定している。

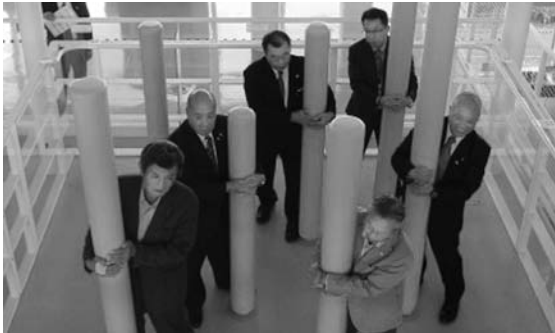
乗合制「愛のりタクシー」、地域の情報提供にも力を入れ、ハード整備とともに、ソフト整備に力を注いでいる。

★北海道千歳市
(人口9万6千400人・議員定数25人)

☆目的・内容 千歳市防災学習センター「そなえ」について。

千歳市防災学習センター「そなえ」は、防災に関する各種体験ができるとともに、千歳市の防災拠点としての機能を備えており、地震体験コーナー・煙避難体験コーナーなどで実体験することができる。各コーナーでは、今まで日本で起こった地震の

うち、阪神淡路大震災の揺れを体験し、平時における備えの大切さを実感した。



地震体験コーナー



煙避難体験コーナー

吾川郡町村議会議長会(いの町・仁淀川町)主催 議会議員研修会報告

〃議会基本条例制定の是非〃

仁淀川町議会運営委員会委員長 若 藤 敏 久

1. 開催日時

平成28年11月16日
(水)

2. 開催場所

仁淀川町宿泊施設「秋葉の宿」(観光センター)

3. 研修内容

全国に広がる地方議会改革「議会基本条例から考える」

講師

東京財団政策研究部
研究員 中尾 修先生

【プロフィール】

平成13年から栗山町議会事務局長を8年間務められ、議会基本条例制定に深く関わられた。

現在は東京財団政策研究部研究員、早稲田大学マニフェスト研究所客員研究員として活躍されている。

目的

全国では70を超える地方議会で「議会基本条例」が制定され、各市町村議会において活発な議論が行われている。

議会は徹底した情報公開と住民参加が基本とされ、情報公開をどのような手法で行うか、そのルールを明文化する必要性がある。

地方議会改革の必要性、重要性を学び、両町の住民福祉の向上の発展に資することを目的とし、研修を行った。

研修内容

1. 二元代表制という仕組み(地方議会と首長)

2. 住民との直接対話「議会報告会」の意義

① 徹底した情報公開と住民参加

② 住民自治における議会報告会の位置

③ 討議の広場としての議会報告会

3. 地方自治法を使いこなせ

4. 議会基本条例
① 70を超える自治体議会が制定—なぜ議会基本条例か

5. 特別会計に社会の問題が色濃く現れている

意見交換会

講義終了後、講師と両町議員による活発な意見交換がされた。

議会改革に向けた積極的な意見もあつたが、中には、なぜ今議会改革が必要なのか、今の制度の中で議会は機能している、といった意見もあり、議会改革に対する各議員の温度差がある。このことは、両町議会とも同じである。

仁淀川町議会は、議会改革の必要性については確認済みである。今後はさらに議員間で議論を重ね、町民に開かれた議会を目指したい。



中尾修先生の講演の状況

十二月定例会
一般質問

防災訓練に関して



答 訓練を重ね備える

問

野村安夫議員

11月20日に実施した防災訓練は、緊迫感、連帯感、躍動感が伝わってこなかった。訓練目的は、十分達成されたか。

答 町長

医療関係者、消防団、自主防災組織、警察、高吾北消防署、役場が参加。



仮設医療所訓練

どのう
土震訓練

清流土居川（池川地区）

池川中学校3年 森本 萌

私は仁淀川町が好きです。まずは水がきれいなところが好きです。よく四十万川が日本一きれいな川と言われていますが、仁淀川町の人たちは土居川が一番だと言っています。当然私もそう思っています。そして、地域の人たちが接しやすく優しいところも好きです。以前、雨が降っていて傘を忘れて帰っていたら、地域の人が「傘借しちゃお」と言ってくれました。それに毎日、会った人には挨拶をしています。人が少ないことは良いとは言えませんが、そのおかげで交流が深められるので、そこもまた仁淀川町の良いところだと思います。私はこの地域に住んでいることを誇りに思っています。私が大人になるころにはもっと人を増やし、川もきれいな仁淀川町になるようにしていきたいです。



“仁淀川町の好きなところ”



池川中学校、仁淀中学校3年生の、学校生活を通じての想いを一年間にわたり掲載させていただきました。ご協力ありがとうございました。



問

野村議員

訓練は、毎日日曜に実施しているが、平日に変更することはできないか。

答

片岡総務課長

消防団員や一般で参加する人が参加しやすい日曜日に行っている。平日に実施すると参加する人員が減少するので

問

野村議員

大地震により、道路、橋は必ず寸断され、各地域は孤立し、パニックになる。

全体を想定して、訓練の実施を求める。

答

町長

訓練を重ね、日ごろから備えをしていくことが大事。自主防災組織の訓練と町全体の防災訓練などを通じて対応する。

難しい。

今後は、町関係者、消防団、医療機関などが連携した訓練と合わせて考える。

問 岡田良成議員
行政は過去を検証し、現実直視が大切。中学校では学校単位でクラブ活動ができない。大崎地域は学校がなく教育に不安がある。私は大崎に中学校を残すべきと訴えてきた。これらを検証した行政を望む。

町民は人口減少を背景に、新庁舎、仁淀支所新庁舎などの新築予定規模を望んでいない。

町の人口は現在5千551 766人、国勢調査では5千

将来の町の構想は

答

過疎少子化を見据えて



人、この人口問題の対策と将来の構想、さらには平成32年合併特例債廃止時の対策を聞く。

答 町長

町の人口は、20年後に1千788人減少との推計で、深刻な事態が想定されている。

そのため、若者定住住宅用地整備、雇用が見込める創業支援、移住政策や人口減少対策につながる事業展開を講じる。

また、行政改革により職員数も平成32年4月には141人を目指す。新規事業実施時には、既存事業の廃止・縮小による財源確保、新規事業には必ず終期を設定、使用頻度の少ない施設は廃止などを進める。

建設事業などは大変厳しい状況になる。

問 岡田議員

私は10年後3千人となる厳しい見方をしている。

この状況を踏まえ、町行政に取り組むべきだ。

答 町長

中山間地域の散在集落対策なども、大きな課題として取り組む。

若者定住住宅の総事業費は

問 岡田議員

池川若者定住住宅の買収を含む総事業費と区画数、坪単価を聞く。

答 町長

住宅予定地は2カ所。1カ所は4区画。他は5

区画。現在事前調査を行っており、結果を見て町営住宅などを検討する。

答 吉味池川地域振興課長

総事業費は約1億7千73万円、坪単価に換算すると約31万3千円。

問 岡田議員

若者定住住宅は実施すべき事業。しかし、実施前に計画をよく検討をすべきだ。この事業には補助金はなく、町財政の持ち出し事業であり、苦言する。

答 町長

今後につながるように取り組んでいく。

中学校のクラブ活動について

問 岡田議員

単独ではクラブ活動ができなくなり、池川・仁淀中学校合同のクラブ活動と聞く。実態は。

答 教育長

部員不足となったソフトボール部は学校を交互



竹ノ谷地区若者定住住宅予定地（2工区）



池川・仁淀中合同練習（池川中グラウンド）

に行き来し、大会前には池川で合同練習。同じく女子バレーボール部は、平日は仁淀中学校で週4回合同練習。休日は他校との練習試合などを行っている。

問 岡田議員

今後は生徒・保護者に負担がかからない、クラブ活動への配慮を。

答 教育長

保護者に負担がかからない方法を考えていきたい。

27年度の
事業成果は各事業とも
明るい兆し

問

片岡智準議員

事業結果を町民に知らせ、その是非を判断してもらう必要がある。

平成27年度の農業振興対策で、石垣ハウス利用事業。林業振興対策では約9億5千万円を費やした木材流通施設整備事業。商工観光対策では商工観光事業や観光活性化補助金に一般財源で対応している。これらの成果と、今後の見通しを聞く。

答

町長

農業振興対策では、農業生産者の高齢化や担い手不足、お茶価格の低迷で耕作放棄地が進む中、「中山間地域等直接支払交付金事業」で農業の生産活動などを継続し、集落単位に農用地管理協定を締結。現在17協定122haとなっている。

また、耕作放棄地を利用した小型石垣ハウスを整備、冬場でも石垣地熱・蓄熱を活用し、農産物の栽培、収益性も期待できる。

現在5地区延べ322㎡の新規石垣ハウス建築要望が出ている。

今後も、お茶、高糖度トマトを軸に6次産業化を推進、生産意欲増大に努める。

林業振興対策では、木材加工流通施設等整備事業で建設された池川木材工業第四工場は4月に操業を開始、加工実績は計画の5割程度。要因は操業開始時の加工機械の初期調整、従業員の習熟度など。現在は月産840㎡、年換算1万㎡、当初目標

水準で安定稼働と聞く。成果として林業の将来に明るい兆しが見え始め、原木生産に携わる方々の意欲の向上と増産体制の構築が進み始めた。

商工観光事業は商工業者への経営改善普及事業や地域総合振興事業に要する経費に充当。

経営改善は基礎的な経営基盤の強化補助事業で実績に表せない。地域総合事業は買ひ物支援など、加盟店の手数料の無料化、歳末福引大売り出し、夏祭り助成で振興を図った。

観光活性化では本町の各施設などの利用者数1

%増の目標に対し、ゆの森10%増、安居溪谷宝来荘50%増となっている。物品売り上げ増目標は商品数を増やすことができた。

問

片岡(智)議員

事業には逐次関心を持ち、地域活性化につながっているか検証。町民が「仁淀川町元気が出たね」と実感が持てる施策を望む。

目玉事業の木材流通施設が機能するためには、町内山林などの地権者の協力は不可欠。他県の材木を使い機能しても仁淀川町は潤わない。町内の地権者に協力

池川木材工業（第四工場）



いただき、問伐してよかった、いくらの収入があった。そんな話が多くの人に伝わり、協力の輪も広が

答

町長

さらに仲間を呼び、同じ世代の仲間が町を支えてくれる仕組みづくりへと持っていくように9億5千万円のお金を生かしてほしい。

それには町が積極的に移住、育成、研修に取り組み、空き家対策も進め、移住者が快適に住めるようにし、意見交換ができる、総合的な計画を進めてはどうか。

池川の木材加工施設に關しては森林管理推進協議会がソフト、ハード両面から取り組みを進めて



原木が製品化され搬出される状況

いる。仁淀川林産協同組合も個人・法人含め16の事業体が参加、従来1万5千㎡程度の生産量が、3万㎡を超える生産量となり、最終的には池川木加工施設で5万㎡を消費する。

また、林業を担う人材が

必要で移住者対策も進め、昨年5人の方が町内事業体の中で勉強している。この3年間で80人を超える方が町内に移住、今後も住宅、雇用問題に取り組み、地域が元氣を取り戻し、生きがいを持ち、将来に夢を持てるまちづくりにつなげたい。

答

片岡産業建設課長

山林所有者への手立ては、林業の経営計画を立て、森林所有者の情報を事業体に提供して、間伐の推進を図り、地主に還元できる補助制度を取っている。

問

片岡(智)議員

地権者からの協力を得られるよう、町が積極的関与し、大事業がじり貧にならないようされた

答

町長

林業の振興は、森林所有者の協力が重要。コスト削減には森の工場団地を作り、将来的には200haとする。そうなれば規模も数百人体制となる。しかし、地権者の中には不在地主が多く、また相続問題など、多くの課題があり相当な時間と労力を要する。

農道を町道に変更を

問

片岡(智)議員

民主党政権に代わり経費節減により、農道大板横畠線が中断されている。国道33号が降雨などで通行止めになればう回路として不可欠な道路。農道を町道に変更し、早急に整備を進めることはできないか。

要望の方向で準備を

答

町長

質問の道路は33号が大

が、区域変更を行い、地方創生道整備推進交付金事業に乗せ、残り700mの整備を進める方向で準備している。

隣接する越知町にも理解と協力を願い、連携して取り組む。



豪雨により国道は通行止め。水位は上昇（寺村付近）

コラム

『長者だんだんの里』

『2016本のキャンドル 何を信じし期待するのか』

昨年11月5日、午後5時から2千16本のキャンドルが一斉に点灯され、静寂のしじまに未来への光が発信され、あたり一面が「幻想の世界」へと導かれた。そのとき、……点灯した人、観光客、地元関係者の「想いは」……。

感激・感動・哀愁・希望・遭遇、と

いろいろな思いとして、それぞれの瞳に映った……。

この日は幸いにも天候に恵まれ、多くの人で賑わい、長者の里も活気を取り戻していた。

わずか数時間のイベント、しかし、そこには久しぶりの再会、出会いがあり、新たな絆が生まれ、さらに固い絆が結ばれ、移住・定住の足掛かりになれば、キャンドルの光もより輝きを増し、意義がある。

草刈りなどされ、イベントを支えた皆さんの苦勞にも惜しめない拍手を送りたい。

この夜は体感温度が5.6度、寒中の3人の女性が食材の販売「おつかれ」パチリいつまでも続けてね、仁淀川町のために!!

片岡智準議員

※キャンドル全景の関連写真は裏表紙に掲載



2016本のキャンドルで賑わう「だんだんの里」



会場の端で奮闘するだんだんクラブ3人の女性

次期町長 選挙について



答 出馬を決断

問 藤崎源彦議員

次期町長選挙に立候補するか。

答 町長

町民の支援と協力を得、将来につながる持続可能なまちづくりに向けて誠心誠意努めてきた。効果は見えてきたが、合併以来、人口減少、少子高齢化に歯止めがかからず、地場産業も低迷するなど、大変厳しい状況が続いている。さらに、平成32年に合

併特例債が終わり、財政的にも厳しくなる。この状況を踏まえ、経験と実績を基に、本町の将来のために自分の持てる力をすべて出し切る思いで、次期町長選への出馬を決断した。

問 藤崎議員

今期の選挙公約は、実行されているか。

答 町長

選挙では、施策展開の5本の柱を揚げ、魅力と活力のあるまちづくりを目指しさまざまな施策を実行してきた。2期目の主要公約は、

地域資源を活用した産業振興と移住促進施策の推進。

このうち産業振興は特に森林資源や観光資源の活用を進めた。

林業資源の活用では、仁淀川町森林管理推進協議会を立ち上げるなど、原木生産量の拡大と雇用の安定化を図っている。

仁淀川町観光協会を設立し、関係機関との連携を深めながら観光PRを強化、町内への観光客数が大幅に伸びた。

次に移住促進は、移住相談員を配置し積極的に取り組んだ結果、80人を

超える方が移住。林業研修制度では5人が研修に励んでいる。

問 藤崎議員

町民が望む福祉政策とは、制度や施策が分かりやすく、生涯安心して暮らせる町政。福祉に関する政策と展望は。

答 町長

信頼と協働という基本姿勢をもって、高齢者福祉、子育て支援、あるいは教育環境の整備に取り組んできた。

引き続き、町民が住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らし続けられるまちづくりを充実させていく。

問 藤崎議員

立候補するにあたり、副町長を含む執行部体制は。

答 町長

さまざまな課題に対し、共に取り組んできた現体制は実情が分かっており、実績も経験もある。当選すれば、これを町政に活かしていきたい。

地域担当職員について

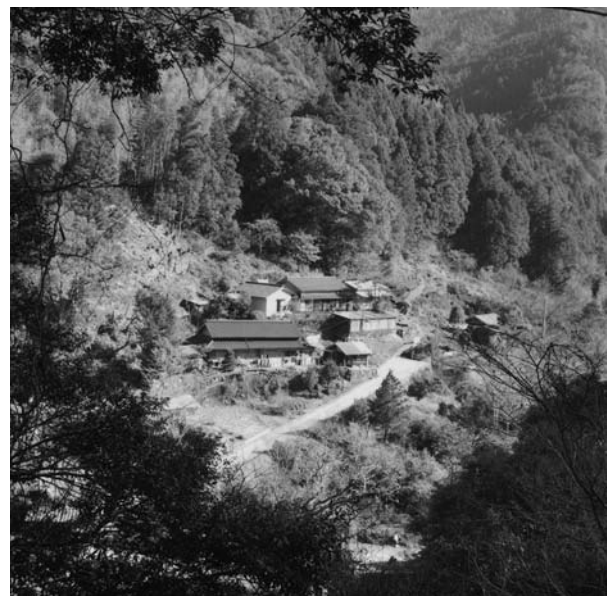
問 藤崎議員

合併を機に地域担当職員制度を導入して10年になる。今後どのように活用していくか。また、現在の活動実態は。

答 町長

合併当初、職員がそれぞれの地域を知らず、業務に深刻な影響が出るとともに、地域によっては取り残される懸念もあった。この状況を克服するた

め地域担当職員制度を設け、定期的に集落を訪問し地区や人を覚える。また地域の声を聴き行政施策に反映することを目的に導入した。しかし、平成26年6月の班長会で、職員の戸別世帯訪問が問題になるなど見直しの意見があり、いったん中止して区長への文書配達のみとした。今後は、区長行きの配布物を渡す際、区長から地域の実情などの情報を収集し、地域とのつながりを深めて共同意識を高めていくことに活用したい。



少数集落を地域担当職員がカバー



間伐が進む林業政策

伝統文化の継承は

〔答〕 開催方法を協議



問

片岡政徳議員

平成20年から行われている神楽、伝統文化の競演は、集客数も少なくなり、一昨年は町政10周年記念事業の中で行われた。この事業は継承者には重要と考える。

答

教育長

第1回から大渡ダム公園で地域の宝として行われ、回を重ね椿山太鼓踊り、都太鼓踊りの参加もあり、合併5周年記念事業では、会場を池川神社に移し、石見神楽を招き、地域の地場産物を販売、千人を超える来客があった。

その後、開催方法のマンネリ化などで集客数も減少したが、開催当初の目的であった、町文化の交流促進は一定の成果を得た。

伝統文化を継承するには新たな取り組みが必要で、場所、時期、開催方法を慎重に協議し再開を考える。

問

片岡(政)議員

文化財の伝承に対し、教育委員会はどうのような対策を考えているか。

答

教育長

映像など記録を残すこ



夜間開催幻想的な催し

とが必要と考えている。今後は、学校関係者、地元団体と協議し、子どもたちの参加しやすい環境も考えたい。

問

片岡(政)議員

池川中学校卒業時の雨ヶ森への登山が中止となっているが、同級生との登山は、何年経っても心に残ると考える。雨ヶ森にこだわらず復活しては。

答

教育長

統合までは総合的学習の一環で取り組んでいたが、統合後、生徒が増え、危険箇所もあり安全面を考慮し見合わせている。中断以降は県立図書館の見学、山村自然楽校しもの郷で宿泊し、「山村体験」「木星電波観測」など地域学習に取り組んでいる。

登山復活は、地域、保護者の理解と協力が必要。学校、生徒の意見も聞き、関係者と協議し検討する。安全面では20人以下が目安となる。

問

片岡(政)議員

高齢者の自動車事故や免許証返納者も増え、コミュニティバスが移動手段。病院、金融機関、買い物に歩いている移動は困難で、タクシーを使えば1日で用件が終わる。地域タクシー券は、1冊12枚だが、予算に同じ枚数を増やせば事業の成果も上がると考える。

答

町長

タクシー券事業は、高齢者の外出支援、社会参加など福祉の増進を図る目的で制定した。平成25年度は、対象年齢80歳以上で実施。26年度からは対象年齢を75歳以上に拡大。過去3年間とも、交付率は50%未満、利用率60%台となっている。今後は、広報、地区回覧で周知を図り、交付率、利用率を勘案の上、制度の内容、券の枚数など検討する。

高吾北広域町村事務組合報告

平成28年12月1日(第4回定例会)

一般質問

問 片岡智準議員

昨年4月1日に介護保険法が改正、新規入所者を、要介護3以上の高齢者に限定、中重度要介護者の対応強化が重点となった。また、要介護1・2の者でも市町村の適切な関与の下、特例入所が可能などとなっている。

中重度者に対する対応強化で介護担当者への負担は加重労働になっているか。要介護1・2の方で入所希望者とトラブルはないか。また、特例が認められているが、基準はあるのか。

答 施設長

介護担当者への負担には変化もなく従来通り。また要介護認定には資料により、医者など5人の方による判定をしており、トラブルなどもない。特例については県か

ら要件を示されており、これらを勘案して決定している。

問 片岡(智)議員

質問をした趣旨は「介護担当者の不足」を懸念してのもの。特に加重労働になっておらず、不平・不満がなければ、引き続きその点への配慮はされたい。

答 弁 略

報告 1件

1 焼却灰ストックヤード新築工事請負金額の変更

2 議案6件

審議議案については、条例改正、一般及び特別会計補正に関するもので、顕著なものとは特別養護老人ホーム(春日荘・五葉荘・もみじ荘・あがわ荘)のサービス収入(施設介護・居宅介護)が法改正などもあり減額補正となっている。案件はすべて全員賛成で承認された。

平成29年度 予算について

答

重点施策に 集中投資



問

藤村良太郎議員

平成29年度の予算編成について、町長はどのようなことを重点的に行っていくのか。

各課や職員に対しては新年度予算編成にどのようなことを期待しているのか。

平成29年度予算にはシーリングは設定しているのか。

答

町長

平成29年度予算では、仁淀川町の強みを活かした産業振興による雇用創出、移住・交流の促進、若い世代が幸福を感じられる条件づくり、安心安全なまちづくりを重点に置いている。

各課には限られた財源を重点施策に集中投資し、各事業にメリハリをつけること。全職員が現状で満足することなく前例踏襲主義を排除し、改革・改善の気持ちで町民と行政が一体となったまちづくりを全力で取り組むよう指示している。

今回シーリングは行っていないが、削減可能なものについてはカットも考えている。

問

藤村議員

町長の答弁は抽象的で具体性が見えない。若い人の子育ては大変厳しい時代である。

子育てを支援する環境整備の施策として、保育料の減額、あるいは無償化、また、小学校の給食費の減額、無料化という

ような考えはないか。

シーリングを設定することによって、内容の再確認も行えると思うが。

答

町長

人口減、少子高齢化により非常に厳しい状況の中、各所属と重要課題や問題について検討しており、今後ヒアリングの中で検討する。

シーリングについては財政的に見ても当然考えていく。

町道高瀬線舗装補修改良工事及び町道東村線改良工事について

問

藤村議員

町道高瀬線の沿線にある高知県茶業試験場入口分岐点上流約50mより国道439号に接する区間は全体的に路面状態が悪く、また、待避所もない。

路面の補修並びに待避所の設置はできないか。

町道東村線は道幅が狭くて人と車のすれ違いも危険な状態、待避所はできないか。また、路面の状態も

良くない、舗装補修はできないか。

答

町長

町道高瀬線の舗装補修については早期に対応する。待避所については地形の問題や地権者の了解などを含め検討する。

東村線の改良については、地形が急峻で有効な手立てがない状態。今後工法などを検討し対応する。

※シーリング

予算額に上限を設ける仕組み。



幅員2m余りの町道東村線



“保育士になる夢”



私は、将来保育士になりたいと思っています。小さいころから年下の子の面倒を見るのが大好きで、今でも身近な子とよく遊びます。

3年になって職場体験学習で、保育所に行きました。年長の子でも私の下半身までしかなく、とてもかわいかったです。5日間体験して今までよりも、子どもとの接し方を大切にしたいと感じることができたし、絶対保育士になりたいと思いました。そのためには、勉強やピアノを頑張っていきたいです。

仁淀中学校3年 中田 唯



元気に走る保育園児

有害魚は町内河川でも増加していると思われるが、現在は被害の声も少ない。

答 町 長

増加が著しくなれば

近年急速に、ニゴイなどの有害魚が繁殖し、放流したアユやアマゴの稚魚が被害に遭っている。猿やイノシシなど有害鳥獣のように、報奨金制度を導入できないか。

問 若藤敏久議員

有害魚に 捕獲報奨金を

答 報奨金制度も
報検討



今後、増加が著しくなれば報奨金制度も検討。

早急に取り組みを

問 若藤議員

ニゴイの数は町内全河川合わせて数百匹と思われるが、繁殖力が強く増加してからは遅い。大渡ダムで繁殖しているブラックバスを、ダム下流で見かけるようになってきた。早急に取り組みればわずかの予算で被害が食い止められると思う。

駆除が必要

答 吉田仁淀総合支所長

私も時々アユ漁に行くが、長者川でニゴイがアユを捕食しているのを見た。放流費用も掛かっており、駆除の検討も必要と思う。

早く対策を

問 若藤議員

川を愛する者の気持ちと同じと思う。繁殖してからでは遅い。今のうちに対策を立てられたい。

調査し対応する

答 町 長

担当課長から状況を聞き、今後の対応をしていく。

社協理事会の対応は

問 若藤議員

社協に関する質問は、要介護者の皆さんが満足なサービスを受けられ、かつ職員が楽しい職場で働ける環境を得るためであり理解を願う。

前議会で「チェックリストの内容はかん口令ではないか」との質問に対し、「理事の皆さんに相談する」とのことだったが、理事会の対応はどの

ようになったのか。

内容が意図と違い使用不可

答 片岡総務課長

理事会でチェックリストの内容が「あつてはならない内容だ」との指摘を受けたと報告をした。その後の理事会で事務局から、内容が法人の意図と違った文言があり、各管理者に使用しないことを通達したとの報告を受けた。

**かん口令としか
理解できない**

問 若藤議員

「理事や行政機関に意見を言うのも求めるのも禁止し、違反をすれば懲戒処分にする」との文面はかん口令そのものだ。ほかの意図があるとは考えられない。

例えば所属長にパワハラ・セクハラを受けたとしても所属長に報告できるはずもなく、このような職場はない。管理者に使用禁止の通



ニゴイが生息する長者川

取り扱っていない

答 片岡総務課長

チェックリストは社協の事務局ではなく、各管理者が管理しており、現在は取り扱っていない。他の件については係争中で、双方の言い分があり、答弁は控えたい。

社協に目を光らせ

問 若藤議員

行政相談や心配事相談

注意する

答 片岡総務課長

理事である私も今後には注意深く気を付けていく。

では、どのようなことでもお気軽に相談ください」と放送しているが、社協のヘルパーさんや職員は相談できない環境に置かれている。町長や理事である総務課長はもっと社協に関して目を光らせてほしい。

名野川出張所について



答 廃止は考えていない

問

西森久雄議員

名野川出張所はどうなるのか。地区の方々と話し合いを行っているのか。

答

町長

名野川出張所は地域に根差した出張所で、戸籍謄本や住民票などの証明書発行、住民異動届などの業務を行っているが、合併以来件数が減っている。

平成32年4月までに14人の町職員を削減する計

画だが、名野川出張所廃止は考えていない。利用状況を見て平日の午前中か、曜日を決めて開所するか、吾川地区の地区長・区長会でも提案。旧名野川小学校区区長への説明を予定している。

問

西森(久)議員

話し合いは一回でも多くやっていただきたい。また、仁淀支所、長者出張所については利用率が高いと聞いたが、この二つについてもなくさないように。

答

町長

地域にとって大事な出張所であり、住民への行政サービスを下下させてはいけないが、仁淀総合支所や池川総合支所も現体制を保つのは難しい。意見を聞きながら地域の皆さんの理解も得、進めていきたい。

タクシー券について

問

西森(久)議員

毎年3月ごろに地区回

覧などで、地域タクシー券は申請しなければ受けられないと通知されているが、知らなかったという方が多い。該当する方全員に送るべきではないか。

答

町長

この業務は、75歳以上の方からの申請により審査を行った上で交付している。今後、関係機関などで協議を行い、有効に使っていただけする方法も検討してみたい。

町道中宮谷山線の改良を

問

西森(久)議員

花桃の時期になれば久喜から長者へと、う回路の標識があるが、間違えて谷山から川渡方面に下りる車もいて狭い所があり困ったと聞いている。改良をすべきではないか。

答

町長

町道中宮谷山線は総延長4千



運用検討中の名野川出張所

331m、道幅が3mで離合に苦労している。花桃の時期はう回路として利用され、大変混雑をし地域住民の方から困っていると聞き、長者方面へのう回路標識をつけ以前と比べ車は減ってきている。この区間は国道439号が災害などで通行止めとなったときに長者地域への最短う回路としても重要な路線で改良工事は必要。しかし、区間も長く地形的にも急峻で多額の工事費も見込まれ、町の単独事業では難しい。今後、国や県の補助対象事業が導入できれば、改良を考えていく。早急に改良を要する危険箇所などがあれば局部改良も考え、待避所なども検討する。



仁淀川町にはいいところがあります。



一つ目は、川がきれいなところです。仁淀ブルーといって、海みたいに青く透き通っていて、日本一の清流とも呼ばれています。私は、日本一の清流がある町で生まれ育って良かったと思いました。

二つ目は、人が良いところです。仁淀川町の人は皆仲が良く、知らない人同士でも笑顔で話しかけたり、話しかけられたりして、とても仲が良いところです。

三つ目は、自然がきれいなところです。仁淀川町は緑の山々に囲まれており、いつも山を見ると落ち着いた気分になります。そんな山は私たちに癒やしを与えてくれます。

土居川での川遊び



仁淀川町には、良いところが他にもたくさんありますが、仁淀川町で生まれ育ったことに誇りを持ち、これからも、大好きな仁淀川町を大切にしていきたいです。

池川中学校3年
下本 琴美

勤務時間
管理について

〔答〕 改善していく

問

竹本文直議員

職員の勤務時間管理に出勤簿を使用している。いまだに出勤簿を使っている理由を具体的に示せ。

答 町長

合併前には1町でタイムレコーダー、2村で出勤簿を使用、合併後、出勤簿を採用。

理由は所属ごとの職員数が少人数。1枚の出勤簿の方が出勤日数や休暇時間などの管理が行いやすい。

今後は新たなシステムでの出務管理について検討する。

問

竹本議員

最近の新聞記事で、近隣町村の職員だった男性が、うつ病を患ったのは過剰な勤務が原因との判決があり確定した。

また、三菱元社員、電通社員の自殺問題など長時間残業が問題視されている。正確な管理をするために最新のシステムによる管理が必要ではないか。

答

町長

時間外命令簿を事前に所属長に提出し、過重労働にならないよう管理している。支所、出張所の管理を含め、今後はタイムレコーダーの導入を含め検討する。

問

竹本議員

最新システムでは管理を自動的に行い、給料計算、支所、出張所の勤怠管理も一括管理できる。新庁舎完成時にはこのようなシステムを入れてはどうか。

答

片岡総務課長

仁淀支所新庁舎、本庁新庁舎の完成に合わせて導入する方向で検討している。

災害対策と大渡ダムについて

〔答〕 国と協議していく

問

竹本議員

30年以内に60〜70%の確率で南海トラフ地震が起こり、規模は、宝永の地震を上回るといわれている。

想定される最大の地震が発生した場合、大渡ダ

ムに関する被害の種類、規模を聞く。

答

町長

大渡ダム管理事務所に確認した。大渡ダムは河川法に基づき地震に対し十分な安全を確保、想定最大級の地震が発生してもダム本体は崩壊しない。

貯水池斜面での地滑りについては、対策工事を行っており、大規模な地滑りは発生しない。

小規模な崩壊は予想されるが、貯水量に最低でも1千800万m³の余裕があるので対応可能との回答である。



大渡ダムと貯水状況

問

竹本議員

新聞の「広場」で、大渡ダムは大丈夫か、との声があり、越知町、地元の森地区ではダムの崩壊を想定した避難訓練も行われている。ダムは、夏期には水位を下げ、冬期には満水にしている。もし、冬期に地震が発生した場合被害が拡大する懸念がある。冬期にも水位を下げるよう要望してはどうか。

昨今どの災害を見ても、想定外の事例が多く、想定外を予想した対策が必要ではないか。

答

町長

上流の地滑り対策は平成16年度から直轄事業で行っているが、絶対安全は確保できない。町としても安全確保については要求していく。

※宝永地震

1707年10月28日、東海地震・東南海・南海地震が同時に発生。地震の規模はマグニチュード8.6と日本最大級の巨大地震と推定されている。



494号の崖崩れ（崩落状況）



平成28年12月定例会 町長行政報告

巨大地震への対応 防災訓練ほか

【秋の叙勲】

秋の叙勲が11月3日に発令され、仁淀川町では元仁淀川町消防団分団長の藤野嘉秋氏が瑞宝単光章を受章されました。藤野氏は、昭和34年に吾川村消防団へ入団以来、班長及び分団長の要職を歴任し、合併後も仁淀川町消防団分団長として活躍、47年余の長きにわたり消防活動の第一線に立ち、水・火災防除、消防力の強化・拡充に積

極的かつ献身的に取り組まれ、団員の資質向上と士気高揚に尽力され、多大な成果と功績を収められました。

また昭和54年から6年余の間、吾川村農業委員会委員としても地域のためにご尽力いただいております。藤野氏に敬意を表すとともに受章を心からお喜び申し上げます。

【防災訓練】

11月20日に町の防災訓練を実施した。今回の訓練は、これまで医療機関、消防団、役場がそれぞれ行ってきた訓練を同時に行い、より現実に対応した状況の中で、それぞれが有効に機能し連携できるかを確認することを大きな目的として実施した。

当日は自主防災組織、高吾北広域消防本部、高知県、佐川警察署にも協力をいただき実施することができた。

訓練は、震度6強の地震により町内各所で災害が発生、落橋や土砂崩れなどにより道路網が寸断されるとともに行方不明者、負傷者も多数あり、

特に池川地区の被害が甚大であるとの想定で、役場・消防団参集訓練、情報収集伝達訓練、医療救護所運営訓練、傷病者搬送訓練、災害対策本部・支部運営訓練、避難所開設訓練、土砂災害救出訓練、瓦礫救出訓練など、多種多様な訓練を実施した。

訓練からはさまざまな問題点が浮上し、課題も数多く見つかり、また自助・共助・公助のあり方を住民の方々と一緒に考える機会となり、有意義な訓練だったと感じた。

今後このような訓練を繰り返しながら災害に強いまちづくりを目指していきたいと考えている。

【庁舎建設など】

本庁舎の建設工事については平成27年12月24日に契約を締結。

現地で工事が本格的に始まった平成28年2月から毎月、発注者、設計管理者、請負業者などの関係者が集まり、工事の工程管理や安全管理、近隣環境問題、関係機関からの連絡などについて

確認、検討するための会議を実施している。

工事については計画通りの工程で進み、現在躯体工事を行っている。

仁淀総合支所の新築工事については実施設計が終了し、11月16日に地域密着型の一般競争入札を行った。今議会に請負契約締結議案を提出しており、議決されれば本庁舎と同じ、平成29年10月末を工期として契約を行う。

【職員採用】

今回の職員採用について

では5人の定年退職者の補充や、産休・育休の休職者の状況を考慮して実施した。

9月から10月にかけて1次及び2次試験を実施し、退職者の再任用の予定などを考慮し、一般職2人を4月1日から採用することとした。

今後においては、事務事業の改善や組織の再編などを行いながら、退職者の補充を極力抑えていく必要がある、定員適正化計画に沿った職員の採用を行っていく。



防災訓練の状況



新庁舎建設（平成28年12月27日現在）



平成28年12月定例会 教育長行政報告

池川・仁淀中学校 合同チーム好成績

教育委員会では、秋に集中した多くのスポーツ大会や文化行事が無事終了。
中学校のクラブ活動では3年生が引退、部員数が減少し、ソフトボール部とバレーボール部で町内2校が合同チームを組むことになった。
活動は9月下旬から始まり、大会にも出場。ソフトボール部は県の新人大会で準優勝、四国新人大会で3位、バレーボ



県の新人体系で準優勝したソフトボール部



高吾地区新人大会で準優勝したバレーボール部

ル部は高吾地区の新人大会で準優勝の好成績を残した。
これは、お互いの生徒が刺激し、いい結果が出ていると思われる。
4月実施の全国学力・学習状況調査について、本町では、小学校3校の6年生22人と中学校2校の3年32人の合計54人が調査を受けた。
調査は、国語、算数・数学の学力調査と生活習慣や学習習慣、人とのかわりなどの状況を把握する学習調査に分け、基

礎知識、応用・活用力を問う問題で出題。小学校では国語A・B、算数Aとも全国・県平均を上回ったが、算数Bは全国・県平均とも下回る結果となった。
全体としては、概ね学力がついてきたが、今後は学校間の格差解消と教育目標を全国・県平均を3ないし5ポイント以上を目指す取り組みを考えている。
中学校では、すべての問題が全国・県の平均を上回り、今後はさらなる

レベルアップと弱点の克服に力を入れていきたい。
また、県の算数・数学思考オリンピックに参加した長者小学校が銅賞に輝き、池川・仁淀中学校も入選し、日ごろの努力の結果が示された。
10月開催の第2回「くいしんぼマラソンin仁淀川」や「金子直吉翁たたる祭り」も多くの町民の方々に協力いただき、無事終了。ご協力に感謝している。



“仁淀川町の良いところ”

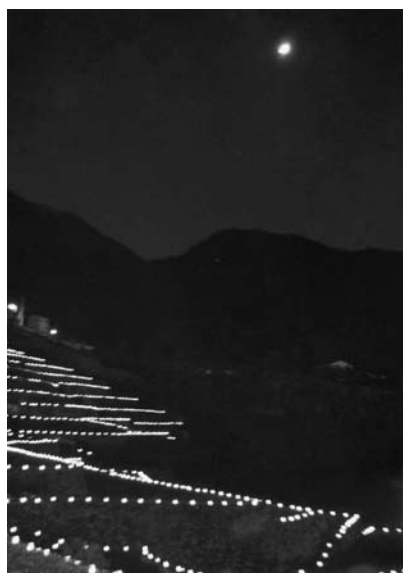


仁淀川町は良いところがたくさんあります。それは森林が多く空気がきれいなところ。私は夜、勉強で眠たくなってきたとき、必ず窓を開けて外の空気を吸います。すると

空気がおいしくてすぐ目が覚めます。

でも最近林業の担い手が仁淀川町で減っているそうです。これからも仁淀のおいしい空気を残していくためには、私たちも木を植える活動をしていけば森林はもっと豊かになっていくと思います。
いつまでも仁淀の良いところが残ってほしいです。

仁淀中学校3年 掛水 未夢



澄んだ夜空に浮かぶ月とキャンドル

議案の審議結果

平成28年第6回仁淀川町議会12月定例会議決事項

議案番号	件 名	議決結果	賛否
報告第17号	専決処分の報告について	承認	報告のみ
議案第50号	仁淀川町議会委員会条例の一部を改正する条例について	可決	全員賛成
議案第51号	仁淀川町総合支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例について	可決	全員賛成
議案第52号	仁淀川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	全員賛成
議案第53号	仁淀川町国民健康保険大崎診療所に勤務する医師の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	全員賛成
議案第54号	平成28年度仁淀川町一般会計補正予算(第4号)について	可決	全員賛成
議案第55号	平成28年度仁淀川町国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定補正予算(第1号)について	可決	全員賛成
議案第56号	平成28年度仁淀川町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決	全員賛成
議案第57号	平成27年度林道災害復旧事業林道上名・用居線(梅雨前線豪雨災害(6. 30~7. 1)・1号箇所)(27年発生)災害復旧工事請負契約の一部変更について	可決	全員賛成
議案第58号	仁淀川町仁淀総合支所新庁舎建設工事請負契約の締結について	可決	全員賛成
議案第59号	字の区域及び名称の変更について	可決	全員賛成
発議第9号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について	可決	全員賛成
発議第10号	参議院議員選挙における合区の解消に関する意見書について	可決	全員賛成

質疑のあった議案

—第6回（12月）定例会—



○専決処分の報告

町道北川線において、自動車同士が接触し、相手の車両に損害を与えた事故。

和解の内容

(1) 町は、相手方に4万3千992円を支払う。
(2) 町および相手方は、本件事故に関し、前項の金額以外に一切の債権債務関係がないことを確認する。

問 藤村議員

相手方と公用車の損害額と過失割合は、事故を起こした職員は過去にも事故を起こしたことがあるのか。
示談金ではなく、損害賠償金となっている理由は。



答 片岡総務課長
公用車を運転していた

職員の不注意で、相手方に過失割合は出ていない。

相手方の損害額は4万3千992円。公用車の方は、車自体も古かったため廃車となっている。

職員の、過去に自損事故を含む事故などの報告はない。
内容的には示談である。

問 竹本議員

職員に対する処分は。

答 片岡総務課長

口頭注意。

■平成28年度仁淀川町一般会計補正予算

養護老人ホームへの入所者増加に伴う老人保護措置費820万4千円、臨時福祉給付金事業費3千945万3千円など、9千983万8千円を追加し、総額を79億3千944万9千円とする。

問 野村議員

中山間地域等直接支払交付金が今時分上がってきた理由は、農業基盤整備工事費の具体的な内訳と内容の説明を。



答 片岡産業建設課長

協定内容の変更及び面積の追加による金額の変更。

仁淀地区の農道宮ヶ坪線の開設工事。

問 若藤議員

池川若者定住住宅の総事業費、今までに要した金額が約7千万円と聞いていたが、これからさらに1億円掛かるのか。

その総事業費で計算すると坪当たり31万円の経費が掛かることになるが、土地の評価額はいくらかの想定しているのか。

吾川、仁淀地区でも同じような費用を掛けてで

きるのか。

今から投資予定の金額で、もっとほかに良い場所若者定住住宅地ができるのではないか。



答 古味池川地域振興課長

現在まで総額7千801万1千394円執行。今後、造成費など約1億円の試算が出ており、総額約1億7千731万1千394円を見込んでいる。

評価額、森のふたば保育所は、5万円から6万円という事例がある。
新たな住宅地造成は多額な工事費となるため、当初から十分な調査が必要と考える。

答 町長

平地の良い所は本町では少ない。
計画に当たっては十分調査をし、対応していく。

問 岡田議員

久万高原町では、土地を無償で提供しても移住する方がいないと聞いた。慎重に取り扱いを。
川口にも、若者定住住宅を予定している。そろそろ一緒に考えるように。

答 古味池川地域振興課長

若者定住住宅地公売に関する事前予備調査を、造成完成予想図など添付し実施予定。

町のホームページや広報、地区回覧で周知後、調査票を配布予定。

答 町長

川口は、町営の世帯用住宅を考えており、分譲地ではない。

問 片岡(政)議員

「ゆの森」の温泉井戸配管改造工事費は、設計委託料400万円と高額だが説明を。
温水量は十分あるのか。

答 片岡産業建設課長

今年8月、温泉の水圧が下がり対応をしたが、



老朽化が進むゆの森ベランダ

今後、井戸の目詰まりなど発生する恐れもあるため、揚水池ポンプを下げる計画。
設計委託料は、温泉井戸の部分とは違う木製部分と修繕に係る設計委託料。
温泉量は十分ある。

問 片岡(政)議員
どこの修繕を行うのか。

答 片岡産業建設課長
ウッドデッキの床、木製の外壁、露天風呂の木製目隠し、浴室の屋根。

問 藤村議員
しように出荷場整備費負担金の詳細を。

答 片岡産業建設課長
JAコスモス管内、越知と枝川の出荷場の統合再編で、枝川の工場建設に伴う負担金。

問 岡田議員
ソニアに償還金利子及び割引料360万円の説明を。



答 片岡副町長
株式会社ソニアの解散に伴う、県からの補助金の返還。

問 藤崎議員
追加がどんどん出てくるような当初予算の組み方は大丈夫なのか。

答 片岡総務課長
当初予算は、県の補助事業や国の事業など要望段階で編成しなければなら

らず、また、国や県の事業の改正で予算増がある。

■平成28年度仁淀川町国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定補正予算

人事院勧告に伴う人件費の調整24万4千円など、139万5千円を追加し、総額を1億9千781万円とする。

問 竹本議員
大崎診療所はどうするのか。

答 町長
老朽化と耐震性の問題があり検討をしている。町内全体の影響も考え、検討をする。

問 藤村議員
診療所の建て替えについて、検討委員会を設置せず、執行部のみで進めているようだが。

答 町長
町として原案を持ち、その上で代表の皆さんに入っていただき検討をしていきたい。

問 片岡(政)議員
白紙の状態からやるのが本来では。

答 町長
ある程度原案がないと話が進まない。

問 竹本議員
時間をかけてじっくりと住民、各方面の意見を

聞いた上で考えるように。

答 町長
いただいた意見を参考に検討する。

問 藤崎議員
一つに決め込むのではなく、最低3案以上を作り、利便性、交通の便な



大崎診療所

どさまざまな指標を比較検討し、検討経過を示すように。

答 町長

診療所の医師の意見、場所、環境、交通の便など総合し、いただいた意見を参考に考えていく。

■仁淀川町仁淀総合支所新庁舎建設工事請負契約の締結について

契約の方法

地域密着型
一般競争入札

契約金額

2億2千123万8千円

契約の相手方

株式会社 上岡工務店

問 若藤議員

本庁舎の入札は不落となり、設計金額の見直しを行い落札されたが、仁淀支所は、最低価格の85%で3業者が競り合っている。この相違の要因は、資材は地域により単価が異なってくる。安い単価で積算をしていないか。

答 町長

本庁舎は、構造、規模が全く違う。県内的にも大きな建造物になると不調のケースが出てきている。木材が町産材のため、地元材で見積もりを取っている。

問 竹本議員

町産材であるという証明はどのように行うのか、地元に戻元されるお金はいくらくらいか。なるべく地元にお金が落ちるような工事をするように。

答 町長

産地と地元の製材業者は説明できる形を取っていく。

本庁舎など町外の方と契約をした場合でも、鉄骨や生コンなど、町内で調達していただいております。かなりの金額が地元へ落ちている。



答 吉田仁淀総合支所長

経費抜き、直接工事費で2千300万円程度の木材を使用予定。



仁淀支所新庁舎建設予定地（現支所西側付近）

問 藤崎議員

仁淀支所の建築にあたり不確定要素となるものはないのか。

積算は、県の基準に従っているのか。

答 吉田仁淀総合支所長

不確定要素はない。積算単価は県に準拠し、本庁舎と同じ考え方で計算をしている。

議長（ロメモ）

「地方が自ら考え、責任を持って取り組む」は安倍政権の総合戦略の理念だ。

地方創生は、地域の内部から主体的に起こすべきもの。地域住民がまちの資源を発見し、ビジネスを立ち上げ、お金が地域で回る仕組みをつくること。

2年前、京都から移住してきた竹内夫妻が起業した「トレトレ株式会社」が着実に実践し、その成果を上げている。

トレトレ株式会社

びわ・柿・桑・秋冬番茶・しそ・よもぎ・うこん・くま笹など……。

40種以上の山野草を摘み乾燥させブレンドされたハーブティーはなかなかのもの。

都会とは正反対の環境で「山の暮らしの中から生まれる商品で会社を興したい」竹内さん夫妻の思いに共鳴した仲間たちとの忘年会がこのほど、中津溪谷「ゆの森」で盛大に行われた。

※トレはイタリア語で数字の「3」の意味。

議長 西森常晴



長者「だんだんの里」
キヤンドルナイト



天に届けと力強く灯す、2016本のキャンドル

1328年																																
13日	10月9日	8日	7日	4日	3日	10月	30日	29日	27日	26日	25日	24日	23日	21日	19日	18日	17日	9月														
第57回四国地区町村祭り(しもなの郷)	金子直吉翁たえる	池川地区大運動会	大崎秋の陣・蕃武田	じん肺キャラバン	栗山町・伊達市・千歳市	視察議員全員先進地視察研修会(北海道)	議会議員全員先進地視察研修会	国土交通省四国地方整備局への要望活動(香川県)	長大会(香川県琴平町)	四国四県町村長・議等学校)	佐川高等学校を後援する会総会(佐川高等学校)	務所)	土交通省土佐国道事	求める要望活動(国)	道路早期整備促進を	池川33号地域高規格	育所合同運動会	長者小学校・長者保	別府小学校・ふたば	会(いの町)	吾川郡町村議会議長	知県)	道路早期整備促進を	国道33号地域高規格	正ノ石地区敬老会	長者地区敬老会	森寺村地区敬老会	定例議会議長				
12月1日	30日	23日	21日	16日	12日	8日	8日	12日	8日	7日	1日	27日	22日	20日	15日	11月	1日	27日	22日	20日	15日	11月	1日	27日	22日	20日	15日	11月				
全員協議会	議会運営委員会	地震と津波を考える(山茶小屋)	多目的研修施設)	盟会定期総会(仁淀川)	国道439号新矢筈トンネル早期実現期成同盟会)	宿)	基本条例(秋葉の)	吾川郡町村議会議長	仁淀川町健康福祉大	仁淀川町健康福祉大	大泉町)	季視察研修(群馬県)	吾川郡議会議長会秋	第60回町議会議長	会全国大会(東京都)	省)	交通省など関係各	選出国会議員、国土	求める要望活動(県)	道路早期整備促進を	国道33号地域高規格	没者追悼式(高知市)	平成28年度高知県戦	ミナ1(高知市)	平成28年度トップセ	テイル	自治会館落成パ	議会議長より特別委員	会)	議長との意見交換会	と町長・町村議会議	高知県選出国会議

編後

集記

議会では、議会と町民との関係の改革に取り組んでいます。

町民が参加する議会とするため、町民がどのようにして意見や要望を議会に伝え、それに議会はどう対応し、議論の場にあげるか。また、議会の情報公開をどのようにするか。といった課題に対応する仕組みを勉強しています。

背景には、地方分権一括法により議会責任が重くなったにもかかわらず、合併後、議員定数が減り、議員の活動範囲が広がった。これらによって、議会活動が町民には見えにくくなり、町民との距離が広がったのではないかとの危機意識が増したことがあります。

今年度は、議会議員改革の研修や、議員同士の議論の場を増やしたことで、活発な議論や意識の共有化が図られ、改革に踏み出した充実の１年でありました。

今後、過疎化など深刻な課題を克服していく上で、町民・行政・議会、三者の関係は、相互理解と支え合いが重要な鍵になると考えます。

特別委員会
藤崎 源彦